





施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	028	ごみの発生抑制・循環的な利用の促進				
総合計画	基本目標	II	緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境）		主担当部課名	生活環境部 資源循環推進課
	基本施策	03	循環型社会形成の推進			
めざす姿	市民一人ひとりに「もったいない」という意識が浸透し、ごみの発生抑制が習慣化されています。また、製品の製造から廃棄に至る過程において市民・事業者・市が再利用や再資源化に努め、循環型社会が形成されています。					
SDGsとの関連	   					

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	167,929,000	162,551,000	160,880,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	11,966,000	9,143,000	4,317,000			
一般財源	155,963,000	153,408,000	156,563,000			
予算現額	167,519,000	162,348,000	0			
決算額	151,768,435	154,734,028	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	10,615,776	12,205,227	0			
一般財源	141,152,659	142,528,801	0			
執行率	90.6	95.3	0.0			
(人件費)						
職員数	18.43	19.14	0.00			
職員人件費	144,376,581	153,096,682	0			
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	9,141,204	8,153,825	0			
総コスト	305,286,220	315,984,535	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 市民1人1日当たりの燃やすごみ排出量	399.8	実績	402.1	-	-	359.8
	g	達成率	89.5	-	-	
② 市民1人当たりの年間粗大ごみ排出量	8.08	実績	7.63	-	-	7.46
	kg	達成率	97.8	-	-	
③ 総資源化率(多摩地域)	8	実績	9	-	-	1
	位	達成率	11.1	-	-	
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	燃やすごみの排出量削減を成果指標としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防策等によって事業系一般廃棄物の量が増えたことにより、排出量が増加した。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	国や都においてもプラスチックに係る資源循環促進の普及啓発を強化していることにより、ごみ資源化量のうちプラスチックの資源化量の増加に寄与している可能性はあるものの、他の多摩地域にも影響が及んでいと考えられ、総資源化率の多摩地域順位ランクアップにはつながらなかった。	コロナ禍におけるライフスタイルの変化等により、燃やすごみ量は増加しているものの、総ごみ量はコロナ禍前と同程度となっており、特に家庭系一般廃棄物は、コロナ禍前よりも微減したため。	
市民ニーズ	粗大ごみの排出量削減を成果指標としていたが、コロナ禍におけるライフスタイルの変化やインターネットによるリユース活動促進により、粗大ごみを排出したい市民ニーズが減少し、施策の効果以上に削減率が増加した。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	資源循環運動啓発事業		担当部課名	生活環境部 資源循環推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① ふちゅうごみ資源物分別アプリダウンロード数	4,585	計画値	4,600	4,650	4,700	4,750	4,750	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	5,851	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		ごみの情報誌「府中のごみ」やごみ・資源物出し方カレンダーへの二次元コード掲載やイベントの際にアプリに関するアンケートを行いながら周知拡大を行ったことによるもの。														
② 自治会・学校説明会件数	24	計画値	25	30	35	40	40	要因の種類(※)								
	件	実績	15	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、各自治会等で密を避けるため集会等が減少したことによるもの。														
事務事業名称	資源物回収推進事業		担当部課名	生活環境部 資源循環推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 回収量	4,628	計画値	4,700	4,800	4,900	5,000	5,000	1	2	3	4	5	6	7	8	
	kg	実績	4,547	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、集団回収事業を一時休止する登録団体があるなどの社会情勢の影響を受けている。														
② 登録団体数	403	計画値	403	403	403	403	403	要因の種類(※)								
	団体	実績	389	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		登録団体の主たる団体の自治会では、役員の高齢化等が進み、集団回収の担い手の確保ができず、また、コロナ禍で団体の活動自体が見直されたことなどにより登録を廃止する団体が増えた。														
事務事業名称	リサイクル推進事業		担当部課名	生活環境部 資源循環推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① ペットボトル資源化率	71.3	計画値	72	74	77	80	80	1	2	3	4	5	6	7	8	
	%	実績	82	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		ペットボトルの搬入量が増加し、減容処理が間に合わないことから、場内に仮置場を設置し、丸ボトルによる搬出の頻度を上げることでリサイクルを推進した。														
② 地域の情報掲示板「ジモティー」での販売実績	17	計画値	60	66	72	78	78	要因の種類(※)								
	点	実績	62	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		ジモティーの販売実績を考慮しながら、出品する品目を選別し、売上率を上げることで、概ね計画どおりの点数を販売することができた。														

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	フードドライブや手前どりポップを設置することで、食品ロスの削減を図った。また、リユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定を締結している株式会社ジモティーが運営する地域の情報掲示板「ジモティー」で再生家具を出品・販売することで、リユースの促進につながった。			
今後の展開	ごみ減量が停滞している現状に鑑み、ごみそのものを発生させないことを重視し、市民が日常生活や事業活動を見直す行動につなげられるよう、3Rの中でも優先順位の高いリデュースとリユースの取組を推進していく。それでもなお排出されるごみは、資源物として分別を徹底するなど更なる資源循環を目指す。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				



6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
ごみの減量と循環型社会の形成に向けた普及啓発や関連する取組、生活様式への転換に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
<p>ごみそのものを発生させないことを重視し、市民一人ひとりが「もったいない」の心を持って、ごみの発生抑制に取り組み、また、製品の製造から廃棄に至る各過程において市民・事業者・市が再利用や再資源化に努めることで循環的な利用の促進につなげるため、日常生活や事業活動を見直す行動につなげるよう、主に次の取組を進めていく。</p> <p>①生ごみの発生抑制の推進 ②食品ロスの削減の推進 ③容器包装材等の発生抑制の推進 ④民間事業者と連携したリユースの推進 ⑤限りある資源のリサイクルを促進するため、集団回収の拡充 ⑥事業系ごみの分別排出の徹底・資源化の推進</p>	<p>各取組の普及啓発等を行うことで、ごみ排出者である市民・事業者の取組を促す。</p> <p>①生ごみ処理機購入の補助件数増加 ②協働によるフードドライブの実施・小売店等への手前どりポップ掲出 ③リユース活動の促進に向けた連携等の協定を締結している株式会社ジモティーが運営する地域の情報掲示板ジモティーの利用促進 ④事業系ごみのうち、雑がみや厨芥等の再生利用が可能な品目への資源化促進</p>	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<p>①循環効果が高い生ごみたい肥化容器の購入補助制度を拡充した。</p> <p>②各地域でごみ対策推進員協議会とフードドライブを実施するとともに、地域活性化包括連携協定を締結しているセブンイレブン・ジャパンの市内店舗へ手前どりポップを掲出した。また、市内で発生している食品ロスの実態把握を目的として、厨芥ごみの組成分析を実施した。</p> <p>③地域の情報掲示板ジモティーで再生家具を販売した。</p> <p>④大規模事業所へ立入調査を実施した。</p>	<p>協働により実施した(4、5に該当しないもの)</p>	<p>各取組の普及啓発等を行うことで、ごみ排出者である市民・事業者の取組を促す。</p> <p>①生ごみ処理機購入の補助件数増加 ②食品ロスの実態把握を踏まえた削減に関する普及啓発の実施 ③ワンウェイプラスチック容器の利用削減 ④協定を締結している株式会社ジモティーが運営する地域の情報掲示板ジモティーの利用促進 ⑤集団回収における回収量増加の促進 ⑥事業系ごみのうち、雑がみや厨芥等の再生利用が可能な品目への資源化促進</p>

施策評価シート

記載年月	令和5年9月
対象年度	令和4年度

1 施策の目的等

施策名	029 継続的・安定的なごみの適正処理の確保		
総合計画	基本目標	II	緑とともに暮らせる 快適で安全安心なまち（生活・環境）
	基本施策	03	循環型社会形成の推進
めざす姿	ごみの収集運搬、中間処理、最終処分各段階において、適正な処理を行うことで、環境への負荷を最小限にとどめ、安全かつ衛生的な生活環境が確保されています。		
SDGsとの関連	 		

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	3,457,868,000	3,571,895,000	3,746,361,000			
国庫支出金	6,160,000	17,065,000	0			
都支出金	163,000,000	185,000,000	185,000,000			
市債	0	0	0			
その他	1,151,925,000	1,185,579,000	1,271,461,000			
一般財源	2,136,783,000	2,184,251,000	2,289,900,000			
予算現額	3,437,172,000	3,565,060,000	0			
決算額	3,427,496,626	3,534,589,839	0			
国庫支出金	6,160,000	17,065,000	0			
都支出金	196,085,000	240,443,000	0			
市債	0	0	0			
その他	1,128,996,731	1,201,088,806	0			
一般財源	2,096,254,895	2,075,993,033	0			
執行率	99.7	99.1	0.0			
(人件費)						
職員数	13.57	14.86	0.00			
職員人件費	106,337,243	118,880,232	0			
月額制会計年度任用職員数	2.00	2.00	0.00			
月額制会計年度任用職員人件費	6,497,384	6,436,232	0			
(間接経費)						
間接経費	7,724,874	7,183,581	0			
総コスト	3,548,056,127	3,667,089,884	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 市民1人当たりの収集後資源化量	73.2	75.5	-	-	-	75.6
	g	達成率	99.9	0.0	0.0	
② 最終処分場での埋立処分量	-	0	-	-	-	0
	g	達成率	-	-	-	
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	SDGsの普及により、製品生産者である事業者等の環境意識が向上し、エコセメントの販路維持につなげられていることで、最終処分場に搬入する焼却灰をすべて再生利用し、埋立てゼロを維持できている。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
	収集後資源化量の増加を成果指標としていたが、国や都がプラスチックに係る資源循環促進の普及啓発を強化していることにより、目標値に大きく近づいた。		ごみの収集運搬から最終処分までの各段階において、適正処理が行われ、環境への負荷を抑えることができています。
	SDGsの普及により、市民の環境意識の向上につながっていると思われる。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	廃棄物収集運搬事業		主担当部課名	生活環境部 資源循環推進課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 指標を設定することが適さないため、設定しない。	-	計画値	-	-	-	-	-	-	-	1 2 3 4 5 6 7 8								
	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																		
									要因の種類(※)									
									1 2 3 4 5 6 7 8									
									<input type="checkbox"/>									
要因の具体的内容																		
事務事業名称	リサイクルプラザ管理運営事業		主担当部課名	生活環境部 資源循環推進課				事業種別	重点プロジェクト									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 資源棟の整備点検回数	6	計画値	6	6	6	6	6	6	6	1 2 3 4 5 6 7 8								
	回	実績	6	-	-	-	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容									リサイクルプラザ資源棟機器維持管理委託において、計画回数の整備点検を行い、安定的な施設の稼働に努めた。									
									要因の種類(※)									
									1 2 3 4 5 6 7 8									
									<input type="checkbox"/>									
要因の具体的内容									事業費の大幅な上昇が想定され、事業費の精査を行うため、予定していた委託業務の実施をやや遅らせた。									
事務事業名称	東京たま広域資源循環組合管理運営事業		主担当部課名	生活環境部 資源循環推進課				事業種別	主要な事務事業									
次年度における事業の位置づけ									B				1					
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度				R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)							
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度					要因の種類(※)							
① 指標を設定することが適さないため、設定しない。	-	計画値	-	-	-	-	-	-	-	1 2 3 4 5 6 7 8								
	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																		
									要因の種類(※)									
									1 2 3 4 5 6 7 8									
									<input type="checkbox"/>									
要因の具体的内容																		

(※)要因の種類

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1 概ね計画通り実施した | 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った |
| 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った | 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった |
| 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った | 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった |
| 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った | 8 その他 |

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた			
今年度の主な取組と成果	コロナ禍における生活様式の変容等によるごみの排出状況の変化に対応するため、急激に増加したペットボトル及び段ボールの収集頻度を拡充した。また、リサイクルプラザにおいて資源化を図るとともに、燃やすごみを焼却処理することで発生する焼却灰は、エコセメントの原料として活用した。			
今後の展開	引き続き、中間処理施設等の安定操業に努めるとともに、リサイクルプラザは、処理の効率化やプラスチック資源循環促進法への対応等も踏まえ、施設整備事業を進めていく。また、大規模災害等の非常事態時における適正な処理体制の確保等にも努めていく。			
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
ルールを厳守したごみの排出に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
<p>快適で安全な生活環境を維持するため、環境負荷の低減が図られた安定的かつ効率的なごみ処理体制を確保し、ルールを厳守した適正な処理のため、主に次の取組を進めていく。</p> <p>①分別排出ルールの徹底 ②資源物の持ち去り対策 ③処理困難物等の適正処理の推進 ④不法投棄対策の推進</p>	<p>各取組の普及啓発及び指導等を行うことで、ごみ排出者である市民・事業者の取組を促す。</p> <p>①ごみ資源物の排出ルールに関する説明会の実施 ②不分別排出者に対する分別排出指導や搬入物検査の実施 ③地域住民や警察等との連携による資源物の持ち去り及び不法投棄防止パトロールの実施</p>	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
<p>①自治会・小学校でごみ資源物の排出ルールに関する説明会を実施した</p> <p>②分別が徹底されていない市民や少量排出事業所に対する分別排出指導を実施するとともに、クリーンセンター多摩川にて事業系一般廃棄物の搬入物検査を実施した。</p> <p>③市民や地域ごみ対策推進員からの情報提供に基づき、資源物の持ち去り及び不法投棄の防止を図るためパトロールを実施した。</p>	<p>協働により実施した(4、5に該当しないもの)</p>	<p>各取組の普及啓発及び指導等を行うことで、ごみ排出者である市民・事業者の取組を促す。</p> <p>①ごみ資源物の排出ルールに関する説明会の実施 ②不分別排出者に対する分別排出指導や搬入物検査の実施 ③地域住民や警察等との連携による資源物の持ち去り及び不法投棄防止パトロールの実施</p>